

ご案内



没後50年 板谷波山展

平成26年9月6日(土)～11月30日(日)
日本近代陶芸の巨匠・板谷波山(1872-1963)は、西洋・東洋のデザインを摂取・融合し、当時最新の釉薬技術と卓越した彫刻技術で表現した、格調高い作品を残しました。本展は新出作品など近年の研究成果をふまえ、約150点を中心に波山芸術の全貌を追跡します。

板谷波山「葦光彩磁琺瑯花瓶」1917年 泉屋博古館分館【重要文化財】

兵庫の陶磁

平成26年12月13日(土)～
平成27年2月15日(日)

近世後期になると、兵庫県内の各地で多くの窯場が勃興し、多彩で色鮮やかな「やきもの」が誕生しました。本展では、個性溢れる県内各地の窯場をご紹介します。近世から近代にかけて華開いた兵庫の「やきもの」の世界へご案内いたします。

王地山焼「染付祥瑞写眞形徳利」江戸時代後期(19世紀) 兵庫陶芸美術館



青磁のいま

—受け継がれた技と美— 南宋から現代まで—
平成27年3月7日(土)～5月24日(日)

青磁は、玉への憧れから中国で生まれた、青緑色の釉薬が施されたやきものです。本展では中国・南宋時代の名品から、日本近代陶芸史に名を残す板谷波山や岡部彌男、さらには人間国宝や新進気鋭の若手作家まで、時代を映し出す青磁を通してその魅力に迫ります。

岡部彌男「粉青瓷大鉢」1969年 個人蔵

展覧会スケジュール

【平成26年4月～平成27年3月】

展覧会名称	開催月											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
やきものって何ダ? —陶芸美術館8館の名品に学ぶ—	■	■	■									
アイデンティティとオリジナリティ —現代陶芸新収蔵品展—				■	■							
特別展 没後50年 板谷波山展						■	■	■	■	■	■	■
兵庫の陶磁										■	■	■
青磁のいま —受け継がれた技と美— 南宋から現代まで—												■
テーマ展 丹波今昔物語Part1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
丹波今昔物語Part2											■	■

美術館ご利用案内

開館時間【4月～10月】

●午前10時～午後7時【但し、7月～8月の特別展開催中の金・土及び4月29日(火・祝)～5月6日(火・祝)は～午後9時】

【11月～3月】

●午前10時～午後6時
※入館はいずれも閉館時間の30分前まで

休館日

●毎週月曜日【月曜日が祝休日の場合は翌平日】
●年末年始【12月31日と1月1日】

観覧料金

●展覧会により異なります。ホームページ等でご確認ください。
※但し、施設への入場は無料



交通のご案内

【鉄道・バスをご利用の場合】

●JR福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分)
駅より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車
(相野駅よりタクシーの便もあります)

【自動車をご利用の場合】

●舞鶴若狹自動車道・三田西ICより約15分、または丹南篠山ICより約20分
●中国自動車道・流野社ICより国道372号を東へ約30分
●阪神方面より国道176号線を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分

【駐車場について(無料)】

●敷地内に58台分(普通車)の駐車スペースをご用意しています。
●移動が困難な方は、館玄関前に駐車できますので、駐車誘導係にお申し付け下さい。
●観光バスの受付については、下記の団体受付窓口にご連絡下さい。

【その他】

●無料貸出有(車椅子4台、ベビーカー1台)



土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館

The Museum of Ceramic Art, Hyogo

〒669-2135 篠山市今田町上立杭4
TEL.079-597-3961 FAX.079-597-3967
団体受付窓口 TEL・FAX.079-597-3970 ※17時まで
E-mail togei@pref.hyogo.lg.jp URL http://www.mcart.jp



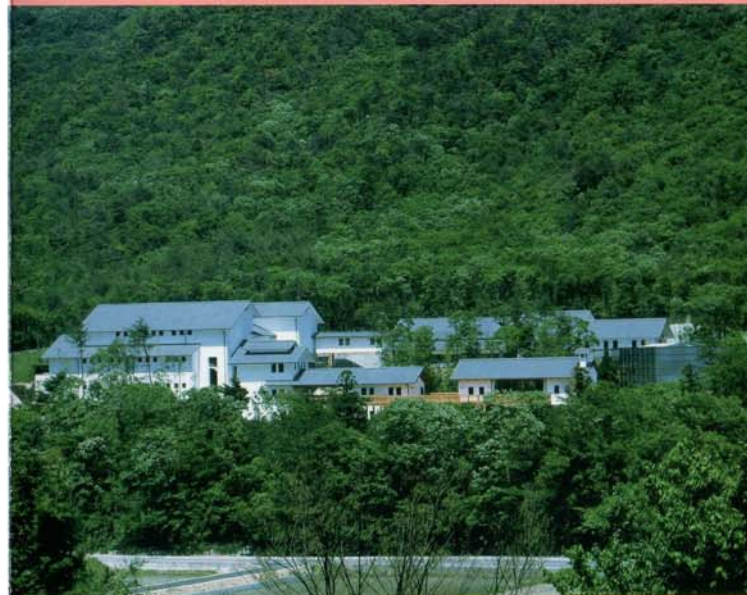
土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館

The Museum of Ceramic Art, Hyogo

展覧会のご案内

Exhibition Guide



2014.4 ▶ 2015.3

特別展の



初代宮川香山「浮彫蓮子白鷺菫草図花瓶」
明治時代前期(19世紀) 岐阜県現代陶芸美術館

陶磁ネットワーク会議共同企画展
やきものって何ダ?
-陶芸美術館8館の名品に学ぶ-
平成26年3月8日(土)~6月22日(日)
やきもの好きの国民性を背景に、日本には、
やきものを楽しめる施設が数多くあります。
これら全国各地の陶磁器専門館が所蔵
する作品から選りすぐりの名品が一堂に会
し、やきもの多様性とその魅力をご紹介します。

アイデンティティと
オリジナリティ

-現代陶芸新収蔵品展-
平成26年7月5日(土)~8月24日(日)
陶芸作品の獨創性(オリジナリティ)には、作家
自身が持って生まれた地理的環境や属性(アイ
デンティティ)が少なからず影響を及ぼしてい
ます。本展では、近年コレクションに新たに加
わった作品を中心に、作家のアイデンティティ
から垣間見られるオリジナリティを探ります。



十二代三輪休雪「射」
1983年 兵庫陶芸美術館

テーマ展のご案内

やきもの歴史や魅力を探るさまざまな
テーマを設け、当館収蔵品を紹介します。

丹波今昔物語 Part 1

平成26年3月4日(火)~9月15日(月・祝)

丹波今昔物語 Part 2

平成26年9月20日(土)~平成27年2月18日(水)

丹波焼は平安時代末期から現在まで連続と生産が続く窯業地で、近年は
伝統を活かしつつ、斬新で新たな息吹に溢れた作品も制作されています。
この八百年を超える丹波焼の歴史を通観するとともに、現在活躍する作
家たちの作品を通して丹波焼の未来を探ります。



丹波「白地銅線軸流徳利」
江戸時代後期(18世紀末~19世紀)
兵庫陶芸美術館



丹波「壺」
江戸時代後期(18世紀後半~19世紀)
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)

施設のご案内



◆レストラン
丹波焼の里を一望できるデッキで、
お食事や喫茶をお楽しみください。



◆茶室

- ◆エントランス棟
チケット売り場・レストラン・展望デッキ・工房
お食事のほか、工房では各種講座が実施されます。
 - ◆展示棟
展示室
5つの展示室があり、特別展やテーマ展など、
様々な展覧会が行われます。
 - ◆管理棟
レファレンスルームには、陶芸関係専門図書があります。
[火・木・金・土曜日/10時~12時、13時~16時]
(無料・事前申込要)
 - ◆コミュニティギャラリー(管理棟1F)
芸術文化活動の展示スペースとしてご利用いただけます。
(無料・事前申込要)
 - ◆研修棟
セミナー室(定員72名)・談話室(定員20名)
講演会やイベントが開催されるほか、
会議や発表会などにもご利用いただけます。
- | 区分 | セミナー室(161㎡) | 談話室(73㎡) |
|-----|-------------------------|----------------|
| 定員 | 72名(教室型)
移動椅子使用時120名 | 20名
(最大32名) |
| 使用料 | 午前 | 2,400円 |
| | 午後 | 3,500円 |
| | 1日 | 5,900円 |
| | | 1,200円 |
| | | 1,900円 |
| | | 3,100円 |

講座のご案内

県民陶芸大学

「電動ロクロ講座」

丹波焼窯元の指導で、電動ロクロによる
作陶、施釉、仕上げ等の陶芸工程を学ぶ。
①初心者コース.....20人(5月~6月)
②基礎コース.....20人(6月~7月)
③応用コース.....20人(7月~8月)



アーティスト・イン・タンバ

「著名作家招聘事業」

著名作家との交流を通じて人材養成を目指す。
26年度は、井上雅之氏をお招きします。

技術専門講座

「陶芸技法講座」

特殊な陶芸技法や、専門的な知識を学ぶ講座。
丹波焼伝統工芸士が指導。
●年1回.....20人

陶芸ワークショップ

「登り窯体験ワークショップ」

丹波土を使って作陶し、「登り窯」で焼きます。
窯焚きは、受講生自らが行う。
①窯元指導コース...20人程度(9月~11月)
②自由作陶コース...40人程度(10月~11月)



ひょうご陶芸文化講座

「特別展関連ワークショップ」

「特別展」に関連したワークショップや講演会・講座等を開催し、
やきものを学習。
●年数回.....各20人程度

学社連携事業

「体験を通してやきものを学ぶ」

陶芸美術館、陶の郷等が連携し、やきものを軸とした学習、
展覧会見学、陶芸体験などのプログラムを行います。
来館前の事前学習として学校への出前授業も実施。
※要事前相談



子育て世代陶芸ワークショップ

「親子陶芸教室」

作陶をとおして、子育て世代の交流や、親子の
コミュニケーションを図る。
●年1回.....親子40人程度(7月)

*各講座とも開催の1~2ヶ月前に募集を開始しますので、詳細はお問い合わせください。内容・スケジュールについては、都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。